

昭和九年5月--14年3月、CDで全195コマ。 昭和12年=93-123コマ目
93コマ目/昭和12年/1937年

1月1日(金)晴。午前8時半一同揃って雑煮を祝う。午前中、年始廻りをする。夜、
新人を交えた「ノトラ」を吹く。〔 はやりのトランプ・ゲームの1種...編者〕

1月2日(土)初荷で馬橋上に若い者が破れ馬穴を叩いて賑やかだ。寒気強し。舎生ピ
ンポンやトランプに遊ぶ。三越・丸井のデパートは景品目当てのお客で物凄い雑踏だった
らしい。

1月3日(日)晴。かなり暖し。今日も初売出しを目掛けて殺到し、街は賑やか。夜来
降雪あり、積雪2・3寸。

1月4日(月)寄宿舎ではお雑煮は昨日迄なので漸く正月気分薄くなる。若松君宣言通
り今日から勉強を始める。感心の至りなり。

1月5日(火)暖気増し、雪融ける。珍しくも雨が降る。シトノと春雨が。之も一時
的の現象で、本格的の冬はこれからだ。

1月6日(水)夜、桜林君帰舎。寒気元に戻る。然し雪少し。寒に入る。

1月7日(木)夜、玉山、細川、角君帰舎。今日は七草の行事の日。粥を祝う。

1月8日(金)寒さかなり強し。予科今日から始業。寒詣りの太鼓の音が寒むノと響
く。

94コマ目 07.06.17

1月10日(日)昨夜あれほど星がきれいに瞬いていたのに夜半にかけて降り始めたの
が、今朝起きてみると相当降っている。舎生皆大喜びでスキーに出掛ける。今日は大倉シ
ャンツェでジャンプ大会があったとのこと。午後6時半頃、田原君帰舎された。前後して
大鐘さん帰舎。

1月11日(月)快晴なれど早朝冷氣稍強し。植岡さん午前中に帰舎。正午に柳川、大
坪両君帰舎された。夜7時頃、花島さん帰舎。

1月12日(火)今朝起きてみると雪降り。でも直ぐ晴れてしまった。今日で舎生一同、
元気な姿で皆揃った。今年も恙なく勉勵されんことを。意義深い12年を迎え、送られん
ことを祈る。本科の方々は目標に試験を控え、猛勉を続けて居られます。無事に終えられ
る様に。予科軍、夜半、寄宿舎スロープでスキーを行う。

1月13日(水)正午から猛烈な吹雪になった。若松、植岡、池谷の諸氏スキーに行か
れた。

1月14日(木)晴天なるも、晴れたり曇ったりしそうな模様。雪雲が我々を喜ばせる。
夜にかけて小雪あり。予科軍、円山に出掛けるものあり。

1月15日(金)桜林、花島両君試験始まる。

1月16日(土)晴天なるも寒気甚し。午後より予科軍、大挙、円山に出掛けた。スキ
ー一部の講習ありと聞く。荒井山の夜間キー場は流石にスキーヤーを喜ばせる。山麓のヒュ
ッテも良し?

1月17日(日)好天気。雪が潤って、あまり好くなかった。予科軍、遠征に出掛け
たるもの多し。手塚、田村両君手稻へ。平山、池谷、柳川、角、大坪君の諸氏、円山・三角
山へ。

全国学生スキー大会、札幌岳にて行わる。北大軍、成績あまりかんばしからず。

1月21日(木)本日議会停会。3日間、奏上御裁可あり。

1月22日(金)毎日単調な天候が続く。毎朝酷い寒さが登校を苦しませる様だ。本日スキーの催しは耐久競争。

1月23日(土)内閣総辞職に決定。新聞政治欄、漸く沈滞の域を脱す。雪降らず遠山に挑む勇士これまたなし。

95コマ目 07.06.17

1月24日(日)雪が小降り。どんより曇った空模様。終日、ふさいだ気分になってしまった。学生スキー大会も今日のジャンプで無事に幕を閉じた。北大、戦跡顕著ならず。

1月25日(月)予科1年組、本日午前9時からスキー教練あり。円山に集合し、平地行進の要領一般を授けられて、各組各教官の指導の下に無意味な行進を続け、荒井山に集合し、30分間自由滑走の後解散す。

大命、宇垣一成閣下に降下す。陸軍各部に反対ありとか。大寒に入った故か、一日中寒気が空から除かれそうもない。

1月26日(火)予科2年組、双子山にてスキー教練あり。朝から風を交えた雪降りて絶好の日の様だ。夕食後1月分の決算を行う。食費1日60銭。

1月27日(水)花島さん奥手稲へ一泊の予定で遠征に行かれた。終日上天気であった。

1月28日(木)文芸部、原稿用紙を舎生に配付す。2月7日締切の予定。花島さん無事征服して帰舎。

1月29日(金)1年医類の級会あり。

1月31日(日)若松さん始め舎生の大半、山へスキーに出掛けた。午後から猛烈に降り出し、絶好の日和であった。植岡さんスキーを折った。

2月1日(月)池谷君、風邪にて欠席。

2月2日(火)朝から吹雪。酷寒である。

2月3日(水)桜林さん三角へ。一日中、天気寒冷。

2月4日(木)朝少し吹雪いた。細川、柳川両氏、風邪にて欠席。

96コマ目

2月6日(土)本学創立記念日、9時半より祝賀の式挙行さる。例年により寄宿舍、手稲山行。天気順調、日中稍暖気あり。

2月7日(日)平山、池谷、細川、幌美峠へ。新雪ありて絶好の日和なり。田村君腹痛を催す。

2月8日(月)田村君潰瘍突起炎にて大学病院柳外科12号室に入院す。一日も早く回復せられんことを祈る。

2月11日(木)手塚、細川両氏スキーを折る。

予科1年、建国祭挙行のため、紀元節拝賀式終了後、豊平館前に集合。盛大に挙行せられたとの由? / ママ /

2月12日(金)田村君その後の経過良好。

2月13日(土)晴天。積雪多量のため電車他、交通機関運転難航

2月14日(日)朝かなりの雪。平山、柳川、手塚、植岡諸氏、夫々スキーへ。

2月15日(月)終日雪曇り。田村君の容態極めて良好。元気な顔を見ることが出来た。

2月16日(火)予科試験期日、遂に発表す。諸兄の有終の美を望む。

2月20日(土)宮部先生宮中講書始めの儀。目出度くご進講の大役を果たされたお祝。新たに学窓を巣立たれる若松、桜林、山根の3氏の送別、盲腸炎にて入院中なりし田村君の退院の3祝賀を兼ねて晚餐会を午後5時より催す。舎長を始め奥田、亀井、鈴木先生ご出席なられる。

7時より本年度最後の月次会を行う。終って後定例により部員選挙を行う。次頁のごとし。猶月次会に於て新副舎長選挙あり、開票結果、植岡君16票の絶対多数を以て就任された。

97コマ目

会計 辻君(11) 次花島君(4)

食事 平山君(11) 柳川君(7) 次池谷君(4)

文芸 池谷君(6) 次手塚君(5)

運動 手塚君(5) 次花島君(4)

衛生 玉山君(10) 次手塚君(2) 角君(2) 大坪君(2)

この日午後2時、田村君大学病院より御無事に退院さる。

2月24日(水)桜林氏関西へ旅行なされた。

2月26日(金)夕食後、決算を行う。1日分食費49銭。

3月1日(月)田村君、郷里静岡市へ帰省。

3月3日(水)快晴にして天候良和なり。予科生試験を明日に控え緊張の色濃厚なり。諸氏の無事を祈る。

3月4日(木)雨がそば降ってなんとなく幸先が悪い。一同元気で登校す。

3月9日(火)どうやら学年最後の試験も終えた。夜、池谷、大坪両君帰省。昨夜に比べて面白いほど安堵の気分が漲っている。まあどうにか--。

3月10日(水)平山、柳川、手塚、玉山諸氏、奥手稲スキー踏破。無事帰られんことを祈る。朝、田原君帰省。

3月11日(木)早朝、角君帰省。

3月12日(金)平山、柳川、手塚、玉山君、帰省。夜、細川帰省。

98コマ目

3月13日(土)吹雪なり。又冬に逆行の感あり。本科生のみにて静かなる哉。夜、若松、植岡両氏、宮部先生邸へ招待さる。

3月17日()朝の急行にて植岡君帰省す。辻君試験終了。

3月18日()朝早く辻君帰省。途中余市にて実習とのこと。

3月22日(月)朝山根君卒業帰省。年札幌に経ること久し。如何なる感慨やある。静かなる出立、一抹の哀れあり。大鐘君試験終る。

3月24日(水)医学部4年目も、とうとう最後の試験も終えた。奮戦、乱戦の跡に、唯残骸を天下に曝すことなからんを期す。夜、謝恩会あり。

3月26日(金)夜 平野君帰省。

3月27日(土)朝大鐘君帰省。花島君ヘルベチヤ〔ヒュッテ〕に出かく。

3月29日(月)桜林君午後アシベツ岳へ。夜花島君帰舎。

3月30日(火)夜桜林君帰舎。

3月31日(水)大学卒業式。桜林、若松両君1本づつの証書を頂いて喜々として7年間の1枚を持ちあるく。

4月2日(金)朝桜林、花島両君帰省す。

4月6日(火)植岡君正午帰舎。天気宜しけれど道未だ汚し。事務所に予科合格者の住所調べに行く。夕食後、若松君から事務引き継ぎを完了す。この日若松君住み慣れし舎に名残を惜しみつつ新しき下宿に移られる。感無量。

4月7日(水)細川君帰られ沢山お土産持来たる。直に親類に行かれ2、3日内に帰舎さるとのこと。若松君正午頃来訪、昼食後工学部に勧誘状を印刷に行き発送す。6時頃、田原君帰舎。夜、谷口君来らる。

99コマ目

4月8日(木)正午大坪君帰舎。若松君と共に食事す。夜平山、池谷、手塚の3君帰舎。

4月9日(金)予科授業開始。予科は平山、池谷、玉山、手塚、大坪、田原の6君のみ。夜、田村君、盲腸炎も忘れた如く、元気で帰舎さる。

4月10日(土)夜、柳川君帰舎さる。若松さんが見えられ、在舎の人々に挨拶して行かれた。未だ馴れない下宿より舎のほうが自分の家らしいとの事。

4月11日(日)朝から豊屋が来て廊下で仕事をしている。午後、大坪君都合により退舎され、北6西15へ下宿された。

4月12日(月)今日も豊屋が来ている。夜、辻君帰舎。

4月14日(水)夜、大鐘君帰舎。

4月15日(木)いよ／＼雪解けて平山君等キャッチボールをやる。

4月16日(金)よく晴れ上がって暖かい微風が頬をなでて行く。夜、農実1年、角替達男君(静岡県掛川中学)が入舎される事になり、田村君と同室。

4月17日(土)昨日の快晴を忘れたかのように朝から時雨れている。午後、山根武郎君の従兄弟さん山根乙彦君(台北第一中学)が入舎、農予とのこと。夜桜林さん帰札、舎に一泊。明日引越するとか。

4月18日(月)朝早くから部屋の移動を行う。お昼の汽車で河口脩二君(山梨、都留中出身、工類)が来られた。予科高杉先生から宮部先生を通じて紹介のあった福本途夫君(大連第二中学)農類、入舎。植物園開園。

4月19日(月)予科1年授業開始。夜花島君帰舎。新入生歓迎コンパ8時半頃から開始。山根君に戴いたお菓子でコンパ代俵約。

100コマ目

4月20日(火)平野君を残して舎生全部がそろって淋しさはなくなった。未だなれない新人が部屋に閉じこもっているため、未だ活気がない。夜、阿部芳郎君(横浜一中、農類)が入舎。

4月21日(水)珍しく午後から雨。夜、阿部君から戴いたお菓子でコンパ。部屋が落ち着いたから、部屋割りを次に記す。

特別室 植岡君。1号室 花島君。2号室 柳川、山根両君。3号室 池谷君。4号室 手塚、河口両君。5号室 平野君。6号室 田原、角替君。7号 平山君。8号 田村、阿部君。9号 角、福本君。10号 大鐘君、11号 玉山君、12号 辻君。

4月22日(木)夕食後、決算を行う。休暇があつたにも拘らず、60銭弱であつた事は嬉しい。委員の間で、古い人を送り出した舎生は愈々自重してモットーをきずつげざる様、話し合った。

4月23日(金)夜、平野君帰舎。文芸部として、新入生に集まってもらってお茶を飲みながら雑誌の説明をした。手塚君にも同席を願った。

4月24日(土)評議員会が7時から行われた。映画を見に行く者、多数。

4月25日(日)早朝から曇り、時々雨をぱらつかせて悪い日曜日だ。午前に若松さんや桜林さんが見えた。舎生はこの悪い天気如何する事も出来ず1日中舎内にくすぶって居た。歓迎会の委員定まる。大鐘、平山、玉山、手塚、田原、角の5君。

4月26日(月)昨日の悪天候を忘れた如く、きれいに晴れて、今日の入学式を寿ほぐようだ。予科、実科、専門部の入学式並宣誓式。宮部先生より映画「ルイ・パスツール」を御寄贈下さいました。〔1936年度アカデミー賞を受賞した伝記映画『科学者への道』のこと〕

4月27日(火)靖国神社の臨時大祭で休日。天皇、皇后両陛下には靖国神社御親拝あらせらる。植岡、田村、玉山君、藻岩山に春スキーを楽しむ。

101コマ

4月29日(木)天長節、よいお天気。

4月30日(金)午後5時より新入生歓迎会並月次会開催。鈴木、亀井、平戸、若松4先輩出席。

5月1日(土)6時から中央講堂にルイ・パスツールの映画「科学者への道」があり、行く者多数。今日から水道が引かれた。

5月2日(日)たまの日曜日が雨で気持ちを鬱かせる。

5月4日(火)運動部主催の春の新入生歓迎の薄別旅行の件発表さる。1円50銭とのこと。

5月5日(水)お節句だ、男の子の。だが寄宿舍にはさしたる変化も起らない。ただ柏餅が7時頃現れただけ。

5月6日(木)予科は桜星会大会。頭髮問題喧しく、降壇を要求されたもの2、3あり。午後の日を予科生たち植物園に過す。

5月8日(土)午後1時45分豊平発の電車で薄別に、植岡、平山、柳川、池谷、玉山、手塚、田原、山根、阿部、福本、河口、角替の13君が出発した。重いリュックを背に薄別へと急いだのでした。2列車遅れで花島君が来た。6時から夕食。夜はゼスチュアその他に打ち興ず。12時頃散会。

5月9日(日)朝から曇り。天気がかんばしからず。4時半頃帰舎。池谷先に帰舎。この日、大鐘君、退舎。

5月14日(金)朝10時から、公会堂に於て、文武会新入生歓迎会が盛大に行われた。

5月15日(土)講堂に午前中講演があり、夜は音楽会があった。

102コマ目

5月16日(日)夜、植岡副舎長以下数名が円山に花見を行った。大した人出ではなかった。

5月17日(月)予科、午前10時半より正宗白鳥氏の講演があった。

5月20日(木)先輩山下太郎氏より松岡洋右著『満鉄を語る』〔第一出版社、昭和12年-編者注〕50冊の寄贈がありました。「牧笛」を発行す。

5月22日(土)予科、真駒内に遠足。決算行われ、1日53銭。

5月23日(日)大掃除をやる者あり。花島さん1号室より10号室へ引越す。

5月24日(月)1号室を応接室とす。夜から雨降り出す。『満鉄を語る』を先輩、北村卓爾、時田旬、平川好文、本間晃一、畑賢巳、川島、池上三次の諸氏に郵送した。

5月25日(火)予科3年の諸君、島松に演習に出発せり

5月26日(水)午前10時半から正午までの間に空巢狙、西側窓より入り5号、6号、7号、8号、9号の5室蹂躪されしも、被害案外少なかりしは不幸中の幸いなりにき。巡査来たり調べて帰れり。被害は田原君、時計、平山君、時計、阿部君、洋服と鍵なり。

5月27日(木)新渡戸博士文集、及び追悼集、宮部先生のお頼みにより本日到着せり。

5月28日(金)予科3年目、島松野営より正午頃帰舎す。皆無事。田村君、鈴蘭を持ち来たり、裏の畑に植えたり。平山君は鉢植えにせり。

5月29日(土)快晴。若葉日に照り、申し分なき春の一日なり。午後から大掃除する者、散歩に行く者多かりき。今日と明日は恵迪寮の記念祭なり。

5月30日(日)快晴。昼から舎生、寮祭に行けり。午後2時から対東北帝大蹴球戦あり。2対1で北大勝てり。

6月1日(火)予科1年及実科1年は今日から4日間、月寒連隊に兵営宿泊をする。山根、河口、角替、阿部、福本の5君、朝早く出発した。福本君が風邪で帰

6月4日(金)月寒に行っていた諸君、元気で10時頃帰舎。黒百合展三越にひらかれる。

103コマ目

6月5日(土)理農両学部、月寒で実弾射撃、午後。

6月6日(日)この日は朝から晴れて絶好のスポーツ日和。日を背にして立っていると汗ばむ、初夏の気候。午後1時からグラウンドに恒例の対高商戦が展開された。予科軍大いに頑張った。だが運は予科に幸せず、惜敗するに至った。5時頃終わった。学校当局の生徒に対する圧迫は日々に募り、この日、又月曜は登校すべしと宣べるのであった。だが血多き予科生は明日は野とも山ともなれと、感激のストーム、ストーム、ストームと夜白むを知らず美酒に酔ったのであった。

6月7日(月)我が寄宿舍はくみしやすしと見たか、又例の昼一寸前の時刻に、2号室窓から、大胆にも盗みの心を起こして侵入した者がいた。だが天、正しき者を助けるか、幸い、辻さんが登校の折り一寸振り返って、窓の明いているのを不審に思い、すぐ引き返して小母さんに告げたので、小母さん、おそろおそろ2号を廊下からのぞけば、室内に、一寸小さい奴がしきりとリュックに物をつめている。小母さん、こ奴とばかり両手をとらえて、泥棒、泥棒と呼ぶのだった。折良く居合わせた田原君、この前の恨みとばかり頬つぺたを三つ四つ、ピシヤリピシヤリ。この小泥棒もさるもので、唾のまねして物言わず、しきりに便をしたいと手まねする。かくする中、大金肉屋〔北4条11丁目か?〕から小僧、3、4かけつけて、一同安心する。そこで便所に連れて行ってやると、敵はえたりと、下へ潜って、あぶなく逃がすところ。大金屋の小僧、早くもこれを知って追い、再び我等が手中に入った。かくて警察に引き渡した。夕食後お祝いのコンパ。めでたしめでたし。年頃17歳位、子供。

6月8日(火)小母さんの自慢話、田原君の武勇伝、舎の内外に響く。

予科2年生月寒にて実包射撃。敵よくたばれ、日本の敵よとばかり、猛射して元気で帰る。

104 コマ目

6月10日(木)時の記念日。予科3年、実包射撃。工類、医類、月寒集合8時半。しかしこの日小雨がぱらついていたので、少々遅れた。農類は10時半頃集合。

6月11日(金)寄宿舎に悲しい事、それは、2年間寄宿舎のため文芸部、或いは運動部として尽力してくれた手塚君が都合で退舎されて、下宿せられる様になった事である。その送別コンパを7時から食堂に行く。運動部員を今の学期だけ、文芸部が代行する事となった。

6月12日(土)晴天なので円山方面へ遊びに行く者多い。電車は、ストライキでめっきり影が少ない。手塚君いよいよ引越。一寸淋しい感がある。行き先は北2条円山西2丁目の小国さんとか。谷口さんのお隣り。伊藤さんから奥田良三氏独唱会の入場券を戴く。〔奥田良三=テノール歌手。札幌出身〕

6月13日(日)好天に恵まれ植物園に行く。電車スト、未だ解決せず。

6月14日(月)電車未だ動かず。市民は止むをえず歩く。

6月15日(火)札幌神社例祭で、にぎやかである。大学は午後から休み。

6月16日(水)今日もお祭り。美しく着飾った女の人たちが目につく。この2、3日近頃まれなよいお天気。雲一つ見えない。

6月18日 宮部先生ご病気なので19日にやる月次会を取りやめていたが又、急にやる事になり、平山、角、阿部の3君が委員。

6月19日(土)7時から、亀井さん出席の下に月次会開催。舎生の殆ど全部が感想をのべていたが、之は先生がお出にならなくて、気が楽な為かしら。

9時過ぎに散会。後、舎生だけで委員の選挙。部屋の抽選があった。その結果は次の如し。

105 コマ目

会計部 花島君(10)、次点田村君(*)。 食事部 田原君、角君(各7)、次点田村君(5)。 文芸部 阿部君(6)、次点山根君(2)。 運動部 山根君(6)、次点福本君(2)。 衛生部 角替君(3)

第2学期、部屋割並組合せ

1号室、応接室。 2号室、田原、阿部君。 3号、花島君。 4号、田村君。 5号、平野君。 6号、池谷君。 7号、平山君。 8号、柳川君。 9号、河口、福本君。 10号、角君、山根君。 11号、玉山、角替君。 12号、辻君。

6月20日、午前中、工学部庭球場に庭球をしに行く者多し。今日、暫く振りでレコードを1枚「春の海」と一寸毛色の変ったのを購入した。〔宮城道雄、1929年作曲〕

6月21日(月)植岡さん、三井の入社試験のため砂川へ行く。上首尾との事。

6月22日(火)予科写友会が出来、発会式が学生ホール5号に挙げらる。

6月24日(木)ヘレンケラー女史の講演が公会堂にあった。今日、『満鉄を語る』をYMCAと尚志館、新進修学舎に贈る。

決算を9時頃からやる。1日食費53銭。

6月25日(金)暫くぶりで一寸雨が降り、暑さからやっとながれる事が出来た。

6月26日(土)再び暑くなり、アイスキャンデーが欲しい。予科試験、日割発表。

6月27日(日)予科生、試験勉強に熱を上げて来る。

106 コマ目 2006.12 & 2007.7 読み

7月2日(金)予科授業は1学期終り。
7月4日(日)日曜というのに予科は試験。青息吐息。
7月5日(月)植岡君、平野君、島松へ演習に行く。今日は競馬がないので土煙からのがれる事が出来た。夜は雨。
7月7日(水)予科、試験休み。
7月8日(木)朝、植岡君、平野君帰舎。
7月9日(金)予科試験終了。柳川君4時の急行で帰省。途中十和田湖に寄るとのこと。7時より明葉に離別コンパ〔明治製菓〕。池谷、退舎するとの事。福本、山根両君、9時17分で帰省。
7月10日(土)植岡、阿部、河口3君帰省。阿部君午後の汽車で留萌に実習に行く。田原君午後帰省。
7月11日(日)朝9時50分急行にて田村、角替両君帰省、玉山、角2君も帰省。舎には辻、花島のみ残留。池谷君退舎の由。
日支再び交戦、事態悪化の様、号外盛んに飛ぶ。〔7月7日の廬溝橋事件ならびに11日の日本政府の派兵決定のことであろう。2007年7月7日には70周年の平和関連行事が行われる。...編者〕
7月13日(火)桜林氏来舎。日支情勢益々険悪。
7月14日(水)一日中小雨。
107コマ目
7月16日(金)豪雨至る内地、東海道沿線被害あり。日支益々険悪。
7月21日(火)山崎芳雄氏(先輩)来舎、折悪しく留守中にて名刺を置いて帰らる。夜、木村一郎君来舎、レコードを聞いて帰る。賄の小母さんに7、8月分給料30円を渡す。
7月22日(木)園芸学会始まる。夜、若松不二夫氏来舎。
7月24日(土)朝9時50分、花島君帰省。
7月27日(火)日本軍、北支にて本格的戦闘開始。
7月28日(水)夜、木村君レコードをきゝに来舎。藤田一氏より転居の通知来る。
7月29日(木)雨、植物学会始まる。
8月1日(月)留守中、桜林氏来舎。
8月2日(火)非常に暑い。内地の暑さと変りない程。平野君帰舎。親戚に1泊、明日より又山に出かける由。
108コマ目
8月3日(火)昨日に倍して暑い。
8月4日(水)辻、小樽博覧会見物傍、息抜きに遊びに行く。10時頃帰札。
8月5日(木)「舎」出来上がる。
8月6日(金)いつまでも暑い。花島より本を送れとの依頼により、小包にて発送す。
8月7日(土)朝3時頃大雨と共に雷鳴あり。に目を醒まされる。
8月8日(日)久しぶりに涼くなる街に、召集された兵隊多く見受ける。
8月22日(日)久しく日記をさぼったが、この間別に記することも無い。本日夕、平野君実習地より帰舎。

8月24日(火)平野君再び実習に行く。

8月29日(日)平野君帰舎。平野君の父君、来舎の由。

9月1日(水)いよいよ今日から9月。秋風もたち始め、新学期も近い。

本日、平野君退舎を申出て、荷物を纏めて引揚げた由。理由其他については何等言伝なし。舎生も14人の小人数に減少した事になる。

夜、平川好文氏(先輩)当地に来られたのを機に、舎に立寄られる。忙しいとの事で直ぐに帰られる。

9月2日(木)夜、桜林、若松両氏来舎。

9月3日(金)ピンポンの球及びネットを購入す。

109コマ目

9月5日(日)角替君の荷物が到着。本人も近い内に帰舎の事と思う。夜、平野君の友人にて理学部地鋳1年の渡辺操君来舎。入舎希望の由なるも、辻留守中にて何れ出直して来るの由。朝日新聞、楠炭店に金を支払う。

9月6日(月)角替君、夜帰舎。

9月7日(火)夜、福本君帰舎。

9月8日(水)俄雨あり。

9月9日(木)夜田村君帰舎。札幌駅より戦地へ兵隊さん千人許り出征。見送人で沿道ごったかえす。

9月10日(金)夜、辻、田村、福本3人でニュース映画を見に行く。河口君、玉山君、夜帰舎す。

9月11日(土)朝、池谷、角、両君帰舎。昼、阿部君帰舎す。夜、花島、平山、柳川、山根君帰舎。

9月12日(日)朝から雨で大変ゆううつ。退屈しのぎに各部屋で土産話に花が咲く。午後、植岡副舎長が帰舎。

9月13日(月)前日に続き天候芳しからず曇。舎生一同元気で登校。夕食後、阿部、田村君、平山君、個担教官〔ママ〕訪問。田原君帰舎。

9月14日(火)快晴。写真部、カメラハウスより、引伸機1台購入、代金39円也。夜、元舎生、手塚君来舎。花島、田村、柳川の3君、日活館へナイトショウ見物へ。

9月15日(水)快晴、気持良し。夕食後コムパあり。改正部屋割組合せ及び月次会日取り発表。

110コマ目 2006.12 読み開始。

9月16日(木)天候曇。北支において日支大会戦、愈々せまる。

9月17日(金)快晴。夜田村君、平山君、福本君、山根君ナイトショウへ。

9月18日(土)秋晴。妙な言方だが勉強には全くもったいない。午後部屋の移動多し。若干名植物園に。

夕食後7時一寸過より今月期最初の月次会開催。宮部博士、亀井、若松両先輩ご出席。茶話会席上にて、戦地にある奥田、川崎先輩の武運を祈る舎生一同署名の慰問文を作成す。

9月19日(日)今日は待望の対高商戦。午飯後、神社外苑の球場〔現在の円山球場〕に繰出す。7回の波瀾に5対4とうっちゃられ、惜しき試合を失う。8時より月見の御馳走お萩と枝豆が出る。今宵の月は正に絶好なり。モチお天気は晴。

9月20日(月)天候雨。柳川君足痛に倒れ終に欠席。
日本空軍南京にて大活躍。〔 軍国主義にのみこれてしまった学生のこのような言葉を読むのは辛い日記の記載のママに書き取る - 編集者 〕

9月21日(火)支笏湖行旅程発表さる。旅費各自持は金2円50銭也。夜、辻君、山根君、前川教授宅へ。天気は晴。

9月22日(水)天気晴。明日から休日が4日間も続くので皆のんびりしている。夜、田村君、柳川君、平山君、玉山君、山根君ナイトショウへ。直角、田原両君、軍旗祭出席の為、朝早く月寒へ。

9月23日(木)秋期皇霊祭なる今日は曇。支笏湖へ行く日な
111コマ目
ので少々失望。午前8時30分先発隊出発。次いで40分、後続部隊、苗穂へ。荷物の如く揺られる事約2時間、ようやく待望の湖へ。或は水上に船を浮べ或いは水中に泳ぎ回り、夕食後はジェスチュアに旅の一夜を心ゆくまで楽しむ。夜、雨降。

9月24日(金)早朝に起床。昨晚とは打って変わった様な景色にあらず、天気。早速湖へすつとんで行くと青々と晴れ上った空に樽前とその噴煙がくっきりと浮上がって美しい。午前中は昨日の如くに遊び、午後に至り帰札。夜は大学で口八の映画があるので舎に残って居る者殆ど無し。

9月25日(土)天気晴。皇軍、保定、滄州突破。〔 共に河北省の都市 〕
決算あり。

9月26日(日)天候薄曇なれど植岡副舎長をはじめのハイキングに出掛ける者多し。写真同好会主催の支笏湖写真交換会予告発表さる。

9月27日(月)天気晴後曇。何事もなし。

9月28日(火)夜半の雨晴上り気持のよい天気。如何なる理由か予科生の起床物凄く早し。夜特別室の使用頻。さぞかし傑作が生まれるであろう。

9月29日(水)天気晴。運動部ピンポン大会の発表あり。

9月30日(木)薄曇。極めて寒し。花島君に來客あり。

10月1日(金)天気晴。「楓林」の原稿募集の発表及学校において桜星会秋季大会及び行幸記念日の日取の発表あり。夜、玉山君、福本君、阿部、レーン氏邸に。
112コマ目

10月2日(土)晴後曇。午前皆元気に出校。午後は各自思い思いに。夜映画鑑賞数名。阿部外泊。夜に入り雨降る。植岡君数多の釣魚を持ち来る

10月3日(日)夜来の雨晴上り、絶好の体育デー日和。朝、山根君、秋田北盟寮の記念祭に行く。ハイキングに出でし者多く、午後舎に残れるは実に阿部、河口、角替の3君のみ。夜に入り、又もや雨。

10月4日(月)雨後晴 皇軍德州〔山東省〕占領。意気益々隆なれども海外諸国の情勢は日にノヽ日本に不利。

10月5日(火)晴後雨。夜、富貴堂に蓄音機を催促に行く。明日必ず届けるとの事。

10月6日(水)晴時々雨。富貴堂より蓄音機到着。

10月7日(木)晴。本予告科は桜星会大会。

10月8日(金)天皇陛下本学行幸記念日の今日は、秋空こゝろゆくまで晴渡りて一点

の雲無し。9時に式開始。舎生一同出席。式修了後、医学部横のローンで野球の猛練習。午後の対進修学舎戦にそなえて。

午後1時より工学部のローンにて決戦開始。戦運我に利あらず、エラー続出し、13A対0の大差を以て敗退す。当日のメンバー - 平山(二)河口(右)田原(捕)植岡(中・捕)花島(三)田村(左)柳川(遊)阿部(投)山根(一)福本(中) 上記の打順。

10月9日(土)晴。午後より植物園へ行く者多し。皇軍、正定〔華北〕を抜く。

113コマ目 2006.12 読み

10月10日(日)快晴なので殆ど全部がハイキングへ。副舎長及び角替君は十月中旬の試験に備へて猛勉。

10月11日(月)晴 来年の復習をめざして野球練習するものあり。その意気やまさに悲壯。皇軍、石家荘の敵陣地を攻略しまさに破竹の勢にて進撃を続ける。〔 石家荘 = 河北省都〕

10月12日(火)天候秋晴

10月13日(水)晴。夜映画鑑賞に行く者あり。

10月14日(木)薄曇。時々晴。日本軍、綏遠、歸化城を占領。黄河の線も既に間近い。〔 共に内モンゴルの要地。綏遠は現在のフフホト〕

10月16日(土)晴。植岡副舎長及角替君、試験に付き猛勉。

10月17日(日)雨。池谷君御訪問。皇軍、順徳占領。〔 順徳 = 広東省佛山地区の都市〕

10月18日(月)雨時々晴。皇軍、包頭〔内モンゴル〕をおとす。予科、文化講演あり。新しい食棚来る。

10月19日(火)晴。皇軍躍進又躍進。我舎の2君益々猛勉。

10月20日(水)晴。原稿の締切都合により延期

10月21日(木)晴。日と共に寒くなっていく。

10月22日(金)目ぼしき事なし

10月23日(土)晴。 栄座で名画、「我等の仲間」「女だけの都」〔共にフランス映画、1936年と1935年の作〕を上映して居るので映画見物に出る者多し。角替君より松茸を送らる。早慶戦は大番狂わせで慶応の勝ち、スコア3 - 1。

114コマ目 2007.6.17 読み

10月24日(月)今日も亦快晴。

10月25日(月)天高。朝刊を見て驚きし事2つ。昨日は又々、予科応援団と高商応援団の乱闘を演じようとした事、及、総退却の支那軍を襲う日の本の荒鷲の延べ機数台〔ママ - 編集者〕なるとの事。

10月26日(火)晴。南風なので大変暖か。皇軍、大場鎮〔 〕の一角占領、之で永らく対峙の上海戦線も漸く動き出すであろう。「楓林」遂に成る。高商応援団長より予科応援団長に謝罪状来る。〔 上海近郊、南西の要地〕

10月27日(水)晴後曇。東洋のヴェルダン、大場鎮陥落。

10月28日(木)曇。日活館で「会議は踊る」「未成交響楽」の名画を2本上映しているので映画マニアの舎生大挙して日活へ。〔 ドイツ映画、1931年作、1934年日本公開とドイツ・オーストリー合作映画、1933年作・公開〕

10月29日(金)晴。青年寄宿舍記念祭の歌練習初日。「楓林」発行。

10月30日(土)雨後曇。久しぶりに雨なれど矢張り晴れの方がよい。市の提灯行列あり。〔上海の制圧を「祝」したものであろう - 編者〕

夜2年以下対3年以上のピンポン戦が展開され大将決戦の後2年以下組の辛勝。

115コマ目 / 2006.12 読み

10月31日(日)晴時々曇。記念祭に供えて各部活発なる運動開始。

11月1日(月)雨。各部益々奮闘。記念祭の手拭出来上る。鈴木限三先生来訪。〔舎のOB。北大予科助教授、生物学〕

11月2日(火)晴。記念祭を明日に控へ装飾部委員、深更零時半迄懸命の力闘。平山、柳川の両君は夜、県人会へ。直々若松先輩来舎さる。

11月3日(水)麗らかな明治節日和。9時50分よりの大学の式典には皆殆んど出席。午後2時半開会の予定の本舎第40周年記念祭は定刻より後れる事約50分、3時20分に始まる。来賓者は宮部先生、高杉先生、鈴木氏、平戸氏、笹部氏、前川氏、青木氏、犬飼氏、亀井氏、広瀬氏、北村氏、若松氏、元舎生木村君の12人。非常に盛大なり。次いで晚餐に移る。この時若松氏並に木村君御帰宅。非常時により余興は中止。夜、東西対抗のピンポン戦を行う。北支戦線樹 / ? / 江鎮陥落。9ヶ国会議始まる。

11月4日(木)快晴 神宮大会終了

11月5日(金)晴 ピンポン戦を明後日に控へ猛練習。皇軍、順徳〔石家荘の南〕占領。

11月6日(土)晴後曇。皇軍、太原〔山西省〕占拠。杭州湾〔北岸〕に敵前上陸支軍の背後をつく。更に日独伊防共協定成る。

116コマ目 2007.6.6 読み

11月7日(日)曇。雪ちらつく。午後一時よりピンポンの個人トーナメント行わる。A組優勝、田村君、次点、田原君。B組優勝、玉山君、次点、阿部。ついで東西対抗に移り田原君の当り物凄く予選3名を残して東軍の快勝。

11月8日(月)今暁雪降るも晴。寒気厳し。

11月9日(火)今暁太城遂に落つ。北支の惑星、閻錫山の居城を遂に3ヶ月の戦闘で落ちた。彼、日本留学時代を思はば、感慨や如何。〔閻錫山(えんしゃくざん、1883 - 1960)は、山西省を拠点に勢力を誇った軍閥指導者。日本の士官学校に学んだ〕

寒さと共に舎生の起床おくれ、朝は飛鳥に驚きし平家の公達の如く、時計の針に驚かされて一目散に学校へ。夜は舎生諸君珍しく勉強しておるが如し。

手稲・三段の山々を眺めて、フレッシュマンのスキー熱高く、先輩達もシュナイダーの如く説明する。これもやらない内の花だろう。逝く秋の名残をとどむ楡梢かな。

11月10日(水)終日雨降る。最近まで残っていた木の葉も遂に落ちて行くらしい。寄宿舍西側の花畑の風雨に打たれて淋しく嘆いている。可憐なり。東側の池水をたたえる初雪と共に舎生の中にもスキー諸共投身するもの多数なるべし。無情たるかな。初冬の雨。午後木枯し強く吹く。

昨日は書き忘れたが、北大の新総長は医学部の今裕博士と決定。高岡現総長は次点にて落選す。阿部、玉山の両君、十勝の合宿申込みをなしたとの事。スキー・シーズン愈々近し。

117コマ目 2007.6.6

夜に入りて満天に星満つ。平山・玉山の両氏望遠鏡をのぞきて天体を研究す。

雨はれて 星影寒し 冬の空。ストーブ赤々と燃え、舎生諸君も落着いて勉強始まった様。9時頃、 に駄べる声きこゆ。

1 1月11日(木)晴。夕食後散歩に出る。寒さがはげしいが矢張り街は人が多い。夜、平山さんの部屋に天体望遠鏡をのぞきに行く。煤煙のためにはっきり見えず。

1 1月12日(金)晴 ヒ總統〔 〕日支事変調停に乗り出すのうわさあるも、うわさにとゞまるらし。〔 ヒトラーのこと〕

1 1月13日(土)寒々とした晴れ方。午後、山根、福本両君、例の如く馬の練習へ。夜は札幌シムフォニーの秋期演奏会に行きし者多し。

南翔、嘉定陥落し上海の敵戦線、大動揺を来す。〔 南翔、嘉定 = 上海近郊の地名。嘉定は現在、上海市嘉定区となる。〕

1 1月14日(日)曇後晴。南風吹きて久し振りにあたたか。

予科試験が近づいたせいか皆良く頑張る。夕食後写真部プリンターを購入にカメラハウスに行くも品切。武林〔 〕より記念祭の写真到着。高い割に下手。太倉、陥落。〔 武林 = 札幌市内の写真館〕〔 太倉 = 江蘇省の都市〕

1 1月15日(月)今日は特別に寒い日。晴れたり曇ったり。

プリンター来る。上海の皇軍の活躍物凄く崑山の敵壊滅す。〔 崑山 = 蘇州の要地。現在はIT産業、パソコン生産の中心地〕

1 1月16日(火)曇後雪。今日も亦寒かった。愈、本格的の冬だ。

1 1 8コマ目 2007.6.6

夜6時よりの市主催の提灯行列に本学より農学部、予科農類、農学実科参加。舎からは山根君、平山君、田村君、田原君、角替君行く。

1 1月17日(水)早朝から雪。加えて夕食後に靴屋が新生生の靴を持って来る。舎生一同スキー熱にかゝかる。中華民国、終に重慶に遷都に決定す。皇軍の努力に感謝すると同時に南京政府要人の反省を希望す。〔 日本軍国主義にのみこれてしまった学生の言葉を書き写すのは辛い - 編者〕

1 1月18日(木)曇気味。夜に入りて雪ちらつく。柳川・山根の二君ナイトショウへ。

1 1月19日(金)雪。三時間終了後、平山、柳川両君、円山へ。青年寄宿舎スロープは子供にて満員。午後及び夜の2回にわたり一軍 其他舎のスロープで滑ったりころんだり。日本、大本営を設置。

1 1月20日(土)雪後曇。昼食後、柳川、平山、山根、の5君、幌見峠へ。直今井百貨店にて黒百合展開催中。藤田嗣司画伯小品を出しておられる。賛助として。皇軍、蘇州を占領、浮足立った支那軍は弱い。

1 1月21日(日)早朝スキーに出る者多し。円山へ又幌見へ

1 1 9コマ目 2007.6.6

1 1月22日(月)曇時々雪。寒気きびし。明日は休日なので夜遅く迄各部屋で雑談す。皇軍、無錫占領。又若松先輩スキーを取りに来舎さる。〔 無錫 むしゃく = 江蘇省南東部〕

1 1月23日(火)新嘗祭で学校は休み。従って皆の起床大変遅し。外は雪解で、道大変悪。夕食後決算を行う。1人23円50銭。大変安し。現食事部の功績や大なり。薄曇

の天気。

1 1月24日(水)今暁雪降る。曇後みぞれ、夜に入って雪。3年生(予科)は午前中、教員査閲練習、午後休み。

1 1月25日(木)雪。予科1年生、2年生及び実科・専門部査閲。この寒いのにご苦労な事おびたしい。

1 1月26日(金)昨日からの雪はまだ降り続いて居る。今日は予科3年生の査閲。3年生は朝早く渋々出て行く。医学部3年目は月寒できょうさく射撃の査閲。夜は兵時(定刻なれど事実をもっと早く)より7時半まで灯火管制の実演。

1 1月27日(土)曇、時々雪。植岡さんはスキーに荒井山へ。直今、夜の灯火管制は9時20分迄。

1 1月28日(日)曇時々雪又は雨。花島さんは奥手稲へスキー行。

1 20コマ目

1 1月29日(月)終日曇気味。皇軍、ゼークト線の至る所を抜く。〔ドイツ人の軍事顧問ハンス・フォン・ゼークトの名を冠した上海付近の軍事防衛線。ヒトラー政権以前からドイツは中華民国に武器を輸出すると共に軍事顧問を派遣していた。〕

1 1月30日(火)雪時々晴。今日山岳部のスキー引渡しがあるので1年は猛烈に張り切って居る。

宜興、常州、江陰落ち、ゼークト線は完全に我が手に帰す。又伊太利の満州国承認発表さる。友邦の為、真に慶賀に堪えず。〔宜興、常州、江陰。宜興市は太湖西岸にあり、北と西を常州市に囲まれる。江蘇省江陰市は港湾都市〕

来月4日、月次会と決定。委員は田村、福本、角の4名。

1 2月1日(水)曇時々晴。予科2学期の試験は今月の15日より中休みの日を交せて6日間。此の間札幌へ来たと思ったらもう試験。月日のたつのは実に早いものだ。

1 2月2日(木)曇時々晴。雪降りし時あり。試験が近づいたせいか、さすがの予科生も遊ぶ者は少い。皇軍、丹陽を抜き鎮江にせまる。又、日本、フランコ革命政権を正式承認す。〔江蘇省丹陽市のこと。徐州の隣〕

1 2月3日(金)曇時々晴。皇軍、上海租界大行進、並にフランコ政権及満州国の相互承認完了す。

1 2月4日(土)曇後大吹雪。今日は本学期最後の月次会なので委員の人は非常に忙しい。夜7時一寸過ぎより会始まる。来賓は宮部博士一人なるも舎生熱弁を奮い好成績。なお1年生のスキー出来上る。

1 2月5日(日)朝から雪。平山君、山根君、福本君は円山へ。午後からは植岡君は幌見峠へ、花島さんは某地へそれぞれスキー行。夜食前のスロープにスキーするもの非常に多し。皇軍、旬客占拠、南京陥落愈々せまる。〔現在の南京旬客市〕

1 21コマ目

1 2月7日(月)晴時々曇。寒気きびし。試験は愈々せまり予科ボーイは益々張り切る。然れども深夜には矢張りすべる者数名。皇軍、南京迄後5里。

1 2月8日(火)晴。終日朗らかな天候なり。皇軍、南京攻撃の体型完了。

1 2月9日(水)晴。予科の試験益々近づく。南京陥落は最早時の問題なり。

1 2月10日(木)晴。此月1年生の部屋のストーブは2つ共具合が悪く片一方は毒瓦

斯をふき、片一方はあれどもなきが如し。南京陥落未だし。然れども無錫を抜き、鎮江を取り、南昌上空でソ連製敵機 16 機を打落とす、20 機を撃破する等目覚しき活躍を続ける。

〔 南昌 = 江西省の省都 〕

1 2 月 1 1 日 (金) 南京陥落。時は正に 9 時 12 , 3 分前

1 2 月 1 2 日 (土) 晴。夜、市主催の提灯行列有り。雪降る。

1 2 月 1 3 日 (日) 晴。舎前のスロープは朝からすべる子供たちでうるさい。予科ボーイズ試験を今週に控え猛勉又猛勉。

1 2 2 コマ目 2007.6.20, tokoro / 撮影は一コマ 2 頁を飛ばしたか？

1 2 月 2 0 日 (月) 予科試験終了。皆、嬉しそう。午後 6 時半より丸井食堂特別室で離別コンパ開催。花島君不参加。8 時半頃終会。ナイトショーを見に出掛ける者多し。夜遅くまで明日の出発の支度でごたつく。

1 2 月 2 1 日 (火) 朝 8 時頃 平山、柳川、田村の 3 君「山の家」へスキーに。夕 4 時 5 0 分急行にて河口君帰省、5 時 5 分岩見沢行きにて田原君帰省。夕 6 時、阿部君、山岳部合宿に出発。早朝、山根、福本君、馬の為旭川へ。

1 2 月 2 2 日 (水) 朝 9 時 5 0 分急行にて花島君帰省。午後植岡さんに引率されて先ずメッチェンスロープへ。玉山、角両君、早朝帰省せらる。車中 2 人で大いに騒ぐと、昨日より「早やそれを夢むものの如しか」。オバさん各室を掃除す。

1 2 月 2 3 日 (木) 植岡さん、演習へ午前 7 時 4 5 分の汽車にて行かれた。平山、柳川、田村の 3 君手稲より帰る。夕、ナイトショーを見に出掛ける。

1 2 月 2 4 日 (金) 平山、柳川、田村の 3 君帰省。

1 2 月 2 5 日 (土) 吹雪。

1 2 月 2 6 日 (日) 曇。寄宿舍はただ 2 人でまことに淋しい。クリスマスの晚餐延期す。

1 2 月 2 7 日 (月) 曇。友達が時に尋ねて来るのみ。

1 2 月 2 8 日 (月) 曇。田村さんより速達来る。

1 2 月 2 9 日 (火) 曇。阿部君スキー合宿より帰舎。夕方、辻さん友達と定山溪へ。夜遅く花島さん帰舎された。

1 2 3 コマ目

1 2 月 3 0 日 (水) 阿部君 9 時 5 0 分の急行にて帰省した。夜、福本、山根両君、旭川連隊に於ける馬の合宿より帰舎。

1 2 月 3 1 日 (木) 久しぶりに皆と一緒に食事。ソバを食べた。昭和 12 年の最後の食事である。